

## 伐採後の造林に係る森林の状況報告書

令和6年11月20日

鹿児島市長 殿

## 【報告者】

住  
氏  
連

届出書の造林する(権限を有する)者が報告を行う。

令和4年5月10日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

## 1 森林の所在場所

## (1) 造林の方法別の造林面積等の計画

鹿児島市	××	町	大字	字	××、△△	地番
適合又は確認通知番号【 生流第〇〇〇号 】						

## 2 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数	作業委託先	鳥獣害対策
人工造林	植栽	R5年4月1日～ R6年10月31日	すぎ	0.71ha	1500本	〇〇造林	防護柵
天然更新		年 月 日 ～		ha	本		

※天然更新の場合は、裏面に生育状況がわかる写真等を添付してください。

## 3 備考

--

## 注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。), からまつ, えぞまつ, とどまつ, その他の針葉樹, ふな, くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

(裏面)

更新状況チェックリスト  
(確認日: 年 月 日)

- 更新樹種の稚樹の樹高が50cmを上回っており, 周囲の競合植物の草丈を十分上回っている。
- 更新樹種が5m×5m又は半径2.83mの範囲内に5本以上生育してる。(haあたり2, 000本以上)
- 伐採跡地が全体的に更新されている。

【造林地の写真】

(撮影日: 年 月 日)

1 造林地全景の遠景

2 更新樹種の生育状況(代表的な樹種の樹高や成立本数がわかる近景)

※裏面に写真が収まらない場合は、別紙に添付してください。